日本国内専用品 Use only in Japan

# ・一ムエアコン据付工事説明書

室内機	IRA-2201R	IRA-2201W	IRA-2801R	IRA-2801W
室外機	IRA-2201RZ	IRA-2201RZ	IRA-2801RZ	IRA-2801RZ
室内機	IRR-2217C	IRW-2217C	IRR-2817C	IRW-2817C
室外機	IUF-2217	IUW-2217	IUF-2817	IUW-2817

# 安全上の注意

据付工事の前に、この「安全上の注意」をよく読んでから据付してください。 据付工事説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

### 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- ●据付工事は、お買い上げの販売店または据付専門業者に依頼する 自分で据付すると、火災・破裂・感電・けが・水漏れの原因になります。
- ●据付工事は、冷媒R32用またはR410A用に製造された専用のツール・ 配管部材を使用し、この据付工事説明書に従って確実に行う 専用の配管部材を使用しなかったり、据付に不備があると、火災・破 裂・感電・けが・水漏れの原因になります。
- ▶据付は、強度を確認し、重量に十分耐える場所に確実に行う 耐荷重不足や取り付けが不完全なときは、機器の落下により、けが の原因になります。
- ●室外機は、ベランダの手すりの近くに据付しない 子供が上に登り、手すりを乗り越えて、落下事故につながります。
- ●電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術 基準」・「内線規程」、および据付工事説明書に従って施工し、必ず専 用回路を使用する

また、電圧は製品の定格電圧に合わせる

電源回路容量不足や施工不備があると、火災・感電の原因になります。

- ●室内外機間の配線は、途中接続やより線の使用はせず、所定のケー ブルを使用して確実に行う 配線が不完全なときは、発熱・火災・感電の原因になります。
- ●室内外機間の配線は、端子カバーを確実に取り付けて配線を固定し、
- 端子接続部に外力が伝わらないようにする カバーの取り付けが不完全なときは、端子部の発熱・感電・火災の 原因になります。
- ▶据付工事部品は、必ず付属部品または指定の部品を使用する 使用しないと、機器の落下・水漏れ・火災・感電の原因になります。
- ●エアコンの据付や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒(R32)以 外の空気などを混入させない
- 空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂によ るけがなどの原因になります。
- ●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する 冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの 火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- ●作業中に冷媒ガスが漏れたときは換気をする 冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

- ●アース工事を行う
- アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない でください。アースが不完全なときは、感電の原因になります。
- ●浴室など、水がかかったり、湿気が多い場所には据付しない 感電・火災の原因になります。
- ●据付工事は、この据付工事説明書に従って行う 据付に不備があると、火災・破裂・感電・けが・水漏れの原因にな ります
- ●電源プラグを差し込むときは、電源プラグ側だけでなく、コンセン ト側にもほこりの付着・詰まり・がたつきがないことを確認し、刃 の根元まで確実に差し込む

ほこりの付着・詰まり・がたつきがあると、火災・感電の原因になり ます。コンセントにがたつきがある場合は、交換してください。

- ●据付作業では運転する前に、次のことを確認する
  - 配管接続は確実に取り付け、漏れがないこと • サービスバルブの弁が開いていること

サービスバルブが閉まった状態で圧縮機を運転すると、異常高圧と なり圧縮機などの部品の破損の原因になります。また接続部で漏れ があると、空気を吸い込むなどして、さらに異常高圧となり、破裂・ けがの原因になります。

- ●ポンプダウン作業では、次のことを確実に行う • 冷凍サイクル内に空気を混入させない
- サービスバルブを2つとも閉じたあと、圧縮機を停止させ冷媒配管を外す 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管を外すと、 空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になって、破裂・け がなどの原因になります。
- ●電源コードは、極端に折り曲げたり、束ねたりしない また、加工・途中接続・タコ足配線はしない 接触不良・絶縁不良・許容電流オーバーなどにより、火災・感電の 原因になります。
- ●指定冷媒以外は使用(冷媒補充・入れ替え)しない 指定以外の冷媒を使用すると、機器の故障・破裂・けがなどの原因になります。
- ●室内機を持つときは、前面パネルに手を掛けない 作業中に前面パネルが開き、機器の落下によりけがの原因になります。

# 小 注意

### 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生する内容を示しています。

- ●据付場所によっては漏電遮断器の取り付けが必要
  - 漏電遮断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあ
- ●ドレン工事は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう配管する 屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
- ●フレアナットは、トルクレンチを使用し、指定の方法で締め付ける フレアナットを締め付け過ぎると、長期間経過後フレアナットが割 れ、冷媒漏れの原因になります。
- ●据付作業では手袋\*を着用する
  - 着用しないと、部品などでけがをすることがあります。(\*軍手など の厚手の手袋)
- ●室外機の吸込口やアルミフィンに触らない けがの原因になります。
- 新築物件・リフォームなどの内装工事や、床面のワックスがけ時には、 エアコンを運転しない
  - ワックスなどの揮発成分がエアコン内部に付着し、水漏れや水飛び の原因になります。作業終了後は、エアコンを運転する前に十分に 換気を行ってください。
- ●室外機は、小動物のすみかになるような場所には据付しない。 小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、火災・故障の原因に なることがあります。また、お客様には、周辺をきれいに保つこと を依頼してください。



この家庭用エアコンには、GWP(地球 温暖化係数)が675のフロン類(R32) が封入されています。フロン類が排出さ れると地球温暖化が進みます。移設・修理・ 廃棄するときは、フロン類の回収が必要

フロン類に関するお問い合わせは、アイ リスコールへお願いいたします。

据付工事完了後、「13 試運転」と「14 点検」の確認を行い、 本説明書をお客様にお渡しくさい。 また、本説明書は、取扱説明書とともに保管していただくよ

うに、お客様に依頼してください。

# 冷媒配管について

- 配管キットを使用するとき 配管肉厚か
- mmのものを使用してください -般の銅管を使用するとき
- ・銅管はJIS H3300「銅および銅合金継目無管」のC1220Tタイプで、内 部の付着油量40mg/10m以下、配管肉厚は0.8mmのものを使用してく アルミ材を使用した冷媒配管は使用しないでください。
- フレアナットおよびフレア加工 フレアナットはエアコン本体付属のものに交換してください。
- ●このエアコンは、冷媒R32を使用しています。

据付にはR32もしくはR410A対応の工具を使用してください。

# 据付場所の選定

# ■ 据付場所の選定

# 室内ユニット

- ・据付板の周囲に「穴あけ寸法図」に示した間隔を取れる場所 ・吸込口、吹出口の近くに障害物のない場所
- ・ 重量に耐える場所
- ・直射日光が当たらない場所
- ・ 温風(冷風)が部屋全体に行きわたる場所
- 高周波機器、無線機器等の影響を受けない所 テレビやステレオなどの機器から1m以上離す(映像の乱れや雑音が
- 入ることがあります。)
- カーテンボックス、カーテンレールから離す
- ・エアコン(吹き出し口)と火災警報器は、1.5m以上離す 浴室など、水がかかったり、湿気が多かったりする場所は避ける
- ・室内ユニットの下面から床まで1.8m以上離す

# 室外ユニット

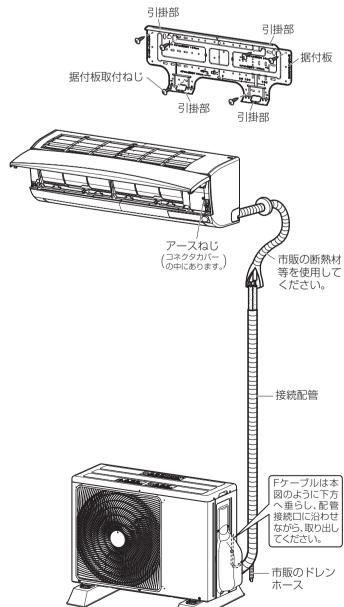
- ・室外ユニットの周囲に、「7 室外機の取り付け」で示した間隔を取れ る場所
- ・強風の当たらない場所(特にビルの屋上では、風が強く室外ファンが 破損することがあります。)
- 風通しがよく吸込口・吹出口の近くに障害物のない場所 ・ユニットの重量に十分耐える場所で水平位置を保てる場所
- 運転音や振動が増大しない場所 • 可燃性ガスの漏れる恐れのない場所
- 排水されたドレン水が流れても問題ない場所
- 接続配管の長さ、室内外ユニットの許容落差は次の通りとすること

機種名	接続配管長さ	落差	
IRA-2201R/IRA-2201W	15m		
IRR-2217C/IRW-2217C	(ただし10m以上は冷媒補充が必要)	10m	
IRA-2801R/IRA-2801W	20m	TOITI	
IRR-2817C/IRW-2817C	(ただし15m以上は冷媒補充が必要)		
※冷媒は、延長1m当たり20g補充してください。			

- ・雨や直射日光が当たる場所への据付には、市販の「日除け屋根」をご 利用ください。
- 以下のような所は避けてください。 ・ 塩害地や、ビル上層部など、常時強風が当たる所
- ・油・蒸気・油煙・腐食性ガスの発生する所 • 温泉地のように硫化ガスの発生する所

# お願い

公団アパートやマンションなどの鉄筋コンクリート造建築物で、室 外機を、ベランダ・天井から吊り下げて据付するときは、室外機と天 井のすき間を80mm以上空けてください。 また、室外機と据付具の 間に防振ゴムを入れてください。



アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 ホームページ http://www.irisohyama.co.jp/

製品及び修理に関するお問い合わせは アイリスコール (通話料無料)

0800-9

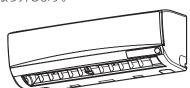
受付時間 平日 9:00~17:00、土・日・祝日 9:00~12:00 / 13:00~17:00 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

# 本体パネル・前面パネル・フラップの取り外しかた

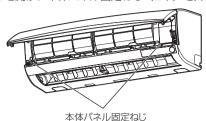
※通常、本体パネル・前面パネル・フラップを取り外す必要はありません。取り外す必要があるときは、以下の手順で行ってください。 ※本体パネル・前面パネル・フラップを取り外すときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ■ 本体パネルの取り外しかた

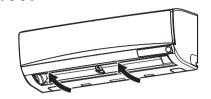
①フラップを取り外します。



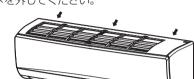
②前面パネルを開け、本体パネル固定ねじ(2本)を外します。



③前面パネルを閉じて、吹出口下部に親指を入れ、本体パネル下部 を持ち上げます。

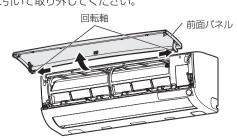


④本体パネル天面のつめ部 (3か所) に手を掛け、後縁をめくるよう にしてツメを外してください。



### ■ 前面パネルの取り外しかた

・前面パネルを水平になるまで開け、回転軸を外側に押しながら、 手前に引いて取り外してください。



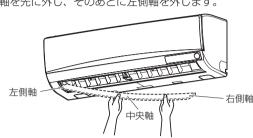
## ■ 前面パネルの取り付けかた

前面パネルを水平にして左右のアームを本体両端の軸の溝に合わ せて押し込んでください。

## ■ フラップの取り外しかた

フラップを開きます。

- ②中央軸を外し、下側にたわませます。
- ③右側軸を先に外し、そのあとに左側軸を外します。



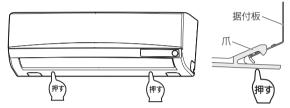
## ■ フラップの取り付けかた

・ 左側、右側、中央の順で軸にはめ込みます。

# 据付後の取り外しかた

## ■ 室内ユニット

・室内ユニット下側の「PUSH」を上に押しながら手前に引きま す。



### ■ 室外ユニット

・地球環境保護の観点から、ポンプダウン(冷媒回収)をしてから 取り外します。



ポンプダウン作業では、次のことを確実に行ってください

● 冷凍サイクル内に空気を混入させない サービスバルブを2つとも閉じたあと、圧縮機を停止さ

せ冷媒配管を外す 圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配

管を外すと、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常 高圧になり、破裂・けがなどの原因になります。

## ポンプダウンのしかた(移設時など)

- ①室内機の強制運転ボタンを約10秒押します。 (ピッと音がして冷 房運転が始まります)
- ②5分~10分後に液側サービスバルブの弁棒を閉めます。
- ③更に2分~3分冷房運転後、ガス側サービスバルブの弁棒を閉め、 運転を停止します。
- ④液側とガス側の接続配管を取り外します。 液側サービスバルブ



# ■ 既設配管を再利用のときの注意

- 古いエアコンを取り外すときは、必ずポンプダウンを行い、冷 媒・冷凍機油の回収を行ってください。
- ・配管肉厚が0.8mmあること(JIS規格の配管)
- ・フレアはR32対応に切り直し、 $\phi$ 12.7mmの既設配管のときはフ レアナットの変更が必要です。
- ・ポンプダウンができないとき・配管内が極端に汚れているとき は、洗浄するか新しい配管に交換してください。
- ・施工には、R32対応の工具を使用してください。
- 一部の機種では、接続配管径の仕様が異なりますので、このとき は、買い換え後のエアコンに合った新しい配管を使用してくださ い。
- ・配管に腐食・亀裂・傷・変形・劣化などがないか、点検してくだ さい。
- 配管以外の部材(断熱材や配管支持部材など)も再使用可能か点 検してください。
- 再使用不可能のときは、補修または新しい配管に交換してくださ い。

# こんなときには

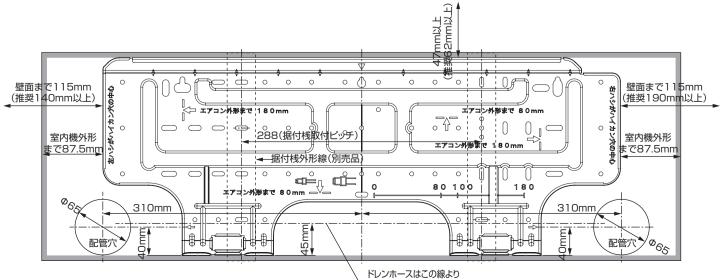
### 室内機が運転せず、**電源**ランプと**タイマー**ランプが点滅する ・電源電圧が200Vになっている可能性があります。電源電圧を確

認してください。

### 室外機が運転せず、電源ランプが点滅する • Fケーブルの接続不良の可能性があります。接続の再確認をしてく

### 同梱付属部品 付属品 個数 品番 付属部品 個数 品番 付属部品 個数 付属部品 個数 据付工事説明書 1 単4形 ドレンニップル 据付板 **}**⊞€ 取扱説明書 1 1 3 1 (5) 乾電池 2 1 保証書 据付板 ワイヤレス 防水ゴム BOB [ リモコン 2 取付ねじ 6 4 1 6 キャップ 2

穴あけ寸法図



上にしないでください。

※前面パネルは外さないで据付作業を行ってください。

## 1 穴あけ・据付板固定

- 「穴あけ寸法図」にしたがって穴を開けます。
- ・ 据付板は、ねじ固定推奨位置など、4か所以上ねじで固定してくだ さい。

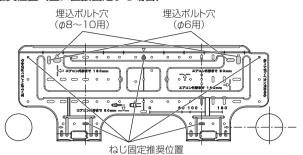
### ■ 据付板を壁に直付けする場合

- ①据付板は、最上部両端と下部の引っ掛け部付近を、必ずねじで締 めてください。
- ②「穴あけ寸法図」にしたがって、据付板の回りは間隔を空け、壁 内の構造材をさがして水平に取り付けます。(4か所以上をねじで 固定してください。)
- ③据付板の上に水準器を載せて、水平を確認しま 埋込ボルト、
- ④埋込ボルトを利用するときは、埋込ボルト用穴を 利用して固定します。(埋込ボルトの出張り寸法 15mm以下

# は15mm以下にしてください。)

## ■ ねじ位置について

### 推奨位置(壁に直接固定する場合)



## ■ 回り縁と鴨居を利用する場合 据付桟(市販品)を使用する

## **2** 雷気工事

- 電源はルームエアコン専用とし、エアコン専用コンセントを電源 コードの届くところに据付してください。
- コンセントは新しいものを使用してください。
- プラグの交換や延長などの電源コード改造や、延長コードの使用 は絶対にしないでください。故障や火災の原因になります。 電源コードをビニールテープなどで巻いて収納しないでください。
- ・雷源電圧を必ず確認してください。

電源 コンセント定格・形状 最大電流 コード長さ 単相100V 15A 15A 1.3m	_	- Faint-Birt Co. Figure 1 (700 Co.)				
単相100V 15A 15A 1.3m		電源		最大電流	コード長さ	
+10100 TOA TOA T.OM		単相100V	15A	15A	1.3m	

電源回路容量に十分余裕のあるように配線工事を行ってくださ い。また、機種と据付場所によっては感電防止のため漏電遮断器 の取り付けが法規上必要な場合があります。

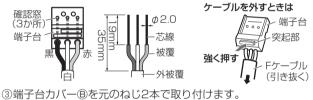
# 接続配線の接続(室内機)

## 配線のしかた

①前面パネルを開け、端子台カバーA・端子台カバーBを順に外します。



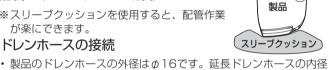
- ②ケーブルを、前面より15cm程度引き出して、先端の皮をむき、 端子台に挿入します。
- ※皮むき時に芯線の被覆を傷つけないでください。
- %Fケーブルは、平形ビニール外装ケーブル $\phi$ 2.0(3芯)を使い、 確認窓から芯線が見えるまで差し込んでください。



- ④端子台カバー ④左側のつめを本体内側に引っ掛けて、元のねじで
- 固定し、前面パネルを閉じます。

## 配管・ドレンホースの成形 スリーブクッションを使用する

が楽にできます。 ■ ドレンホースの接続



φ16部分でドレンホースと接続してください。 .L 外径 *ϕ* 16 内径φ18 内径  $\phi$  16



- ドレンホースは必ず下り勾配を設け、確実に排水されるように施
- 工してください。 ・延長ドレンホースが屋内を通るときは、結露防止のための断熱処
- 理をしてください。 • ドレンホース接合部は、抜け防止と漏水防止のため必ずテープを
- 巻いてください。 • 施工後は、ドレンホース接合部からの漏水がなく、屋外に排水さ

# れることを確認してください。

### ■ 左後取り・左取り・左下取りの場合 ドレンホースとドレンキャップを付け替えます。ドレンホースは

ねじで固定されています。付け替え後もこのねじで固定してくだ さい。ドレンキャップの差し込みは、4mmの六角レンチを使用し て、ドレンキャップのツバが、ドレン口先端に当たるまで押し込み ます。



- ※配管・Fケーブル・ドレンホースはふくらみのないように下側から 化粧テープで巻いてください。
- ※配管接続部の断熱材は10mm程度ラップさせ、隙間が開かないよ うにテープでシールしてください。
- ※補助配管のスリットは確実にシールしてください。
- ※補助配管の接続口に取り付けてあるナイロンキャップは再使用し
- ないでください。 ※ポリシンを使用するときは削り粉が入らないよう、必ずフレア加
- 工を行った後に挿入してください。 **5** 室内ユニットの取り付け

# ①配管を壁穴に通し、据付板に室内機を引っ掛けます。

②室内機を左右に動かして、引っ掛かっていることを確かめ、下部 を壁側に押しつけます。

引っ掛ける

※電源コードを収納する場合は配管収納部に収納してください。



### 室内機と壁の間にスリーブクッションなどを入れて室内ユニット を持ち上げると、配管作業が楽にできます。

てルームエアコン用逆止弁を取り付けてください。

# **ドレン排水について**・ ドレンホースは必ず下り勾配を付けてください。

次のようなドレン排水は行わないでください



ついている ・気密性の高い部屋で換気扇などを使用すると、排水管からポコポ コ音が発生する場合があります。このようなときは、必要に応じ

## 6 ドレン排水の確認

## 取り付け後、ドレン排水の確認を以下の手順で行ってください。

①前面パネルを開けてください。

- ②片側のエアフィルターを取り外してください。(右取りの場合は 左側のエアフィルター、左取りの場合は右側のエアフィルター)
- ③図に示すように、水差しの先端をフィルター枠の間から挿入し、 水差しの先端を熱交換器に当てて、ゆっくりと水を注入してくだ

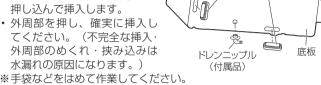


④ドレンホースから排水されることを確認してください。

- ⑤確認後、エアフィルターを取り付けてください。(エアフィルタ -先端部が奥に突き当たるまで差し込み、外していないエアフィ ルターと同じ高さにする)
- ⑥前面パネルを閉じてください。

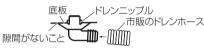
### 室外機底板には、暖房運転時の除霜水を効率よく排水させるために 穴が開いています。ベランダ置きや壁面据付時などの集中排水が必 要なときは、下記手順に従って排水処理を行ってください。

- ①底板下面にある2個の長穴に付 属の防水ゴムキャップを取り 付け、防水処理を行います。 防水ゴムキャップに4本の指を
- 入れ、底板下側から排水穴に 押し込んで挿入します。 • 外周部を押し、確実に挿入し
- てください。(不完全な挿入・ 外周部のめくれ・挟み込みは 水漏れの原因になります。)



防水ゴムキャップ(付属品)

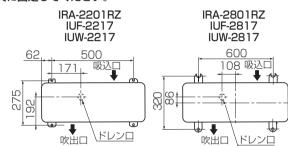
- ※この作業を行っても完全に防水できないときは、コーキング・パテ
- などのシール材を追加してください。 ②ドレンニップルを底板の排水口に押し込みながら左右に回転させ て取り付けます。取り付け後は、ドレンニップルと底板に隙間が
- なくしっかりと取り付けられていることを確認してください。 ③ドレンニップルに市販の「ドレンホース」(内径16mm)を取り 付け、排水処理を施します。
- 室外機が水平であることを確認し、接続のドレンホースはたるみ なく、下り匂配にします。



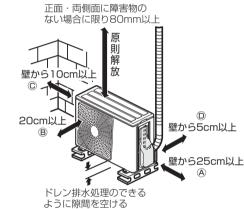
※市販のビニールホースは、つぶれて排水できないおそれがあるの で、使用しないでください。

# 室外機の取り付け

確実に固定してください。

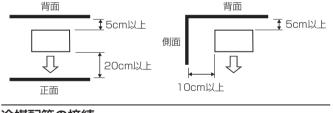


室外機は、周囲に下図の距離を取って据付してください。



※室外機の据付は、図の方向A、B、C、Dのうち少なくても2方向

室外機周囲が開放された据付場所が選べず、やむを得ず吸込口に 壁などの障害物がある場合は下記に従ってください。 ただし、冷暖房能力は10%程度悪化する場合があります。



## 🖁 冷媒配管の接続 接続配管

22/90001				
	液側(外径)	ガス側(外径)		
	φ6.35	φ9.52		
肉厚	0.8mm			
材料及び規格	リン脱酸銅 C1220T JIS H 3300 (付着油量:40mg / 10m以下)			

# ■ フレア加工

きます。

①パイプカッターで配管を切断します。バリは必ず取ってくださ い。(ガス漏れの原因になります。) ②フレアナットを配管に挿入後、フレア加工をします。

952

フレア加工寸法:A(単位:mm)

# 銅管外径

	型ロノロエ	0.00	0.02		
A +0 -0.4		9.1	13.2		
※R32·R410A用フレアツールをおすすめしますが、R22用ツー					
ルを使用するときは下表の通り銅管の出し代Bを調整すれば使用で					



フレア加工時の銅管出し代:B(単位:mm)

### R32-R410用フレアツール R22用フレアツール リジッド(クラッチ式) リジッド(クラッチ式) В $0 \sim 0.5 \text{mm}$ 1.0~1.5mm

トルクレンチでの締めすぎを防止できます。

ハーフユニオンまたは

パックドバルブ

9.52mm

※作業のポイント フレア加工(R32-R410A用ツール、リジット形)するときの銅 管出し代Bを、0.5mmにすると、フレア加工寸法が大きくなり、

ます。 ■ 接続部の締め付け

③フレア加工部に、傷・切粉付着・変形・段差・扁平がないことを確認し

• 接続配管の中心を合わせ、フレアナットを指先で十分締めた後、 図のようにスパナで固定し、トルクレンチで締め付けます。 ※フレア面への冷凍機油の塗布は行わないでください。

プレアナット

34~42N·m (3.5~4.3kgf·m)



## ■ 配管の断熱方法について

• 断熱材で配管をしっかり覆った後にテープ処理をしてください。



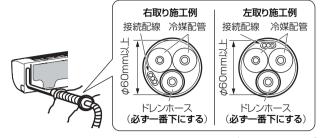
※隙間があると結露して水漏れの原因になります。

### フレア配管接続部の締付トルク

室内機・室外機の各フレア配管接続 部は、トルクレンチを使用して、 規定の締め付けトルクで確実に締 め付けてください。接続に不備が あると、ガス漏れだけでなく、回 路故障の原因にもなります。



## 壁穴に通すときの、接続配線・冷媒配管・ドレンホースの 推奨配置



- ※壁を貫通させるときは、必ず**ウォールキャップと貫通スリーブ**を 使用してください。
- ※集合住宅に据付する場合で、配管類が防火区画を貫通するとき は、耐火処置として**耐火キャップ**が必要です。
- ※配管接続時に、ごみ・水分・砂・切粉などが配管に入らないよう にしてください。
- ※配管接続部の断熱材は10mm程度ラップさせ、隙間が開かないよ うにテープでシールしてください。

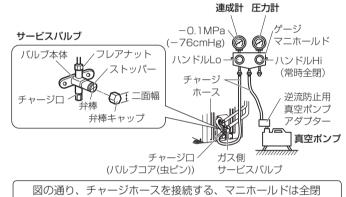
## エアパージ

- ※エアパージ(接続配管内の空気の排出)は、地球環境保護の観点 から「真空ポンプ方式」でお願いします。
- ※地球環境保護のため、フロンガスを大気中に放出しないでくださ しし
- ※真空ポンプ方式にてセット内の残留空気(窒素など)を除却して ください。空気が残留すると能力低下などをまねくことがありま す。

### 操作上の注意

• トルクレンチで規定の締付けトルクで締め付けてください。

	二面幅	締め付けトルク
	H17	
	H19	14~18N·m (1.4~1.8kgf·m)
弁棒キャップ	H21	
	H22	33~42N·m (3.4~4.3kgf·m)
	H27	- 33~42N·III (3.4~4.3kgi·III 
チャージロ	H17	14~18N·m (1.4~1.8kgf·m)



バルブコア(虫ピン)押しの突起が出ている側の接続口を、セッ トのチャージロに取り付ける

> ハンドルLo全開 真空ポンプを運転し、真空引きをする\*1

ガス側サービスバルブのフレアナットを少しゆるめ、エアが入っ ていくことを確認する\*\*2

真空引きを15分以上行い、連成計が-1MPa(-75cmHg)になっ ていることを確認する\*1

ハンドルLo全閉

1 真空ポンプ運転を止める

1~2分間そのままの状態にして、連成計の針が戻らないことを確

認する 液側の弁棒キャップを外して、液側の弁棒を反時計回りに90°開

き、5~10秒後に閉じて、配管接続部の冷媒漏れ検査を行う

サービスバルブの弁棒を全開にする(液側を全開、次にガス側を全開)

チャージロよりチャージホースを外す

サービスバルブとチャージロのキャップを確実に閉める ※1真空ポンプは、必ず逆流防止機構付きを使用してください。ま

- た、真空ポンプ・真空ポンプアダプター及びゲージマニホールド は、使用前に各ツールに付属の取扱説明書を読んで、正しく使用 してください。真空ポンプは、油がオイルゲージの指定線まで入 っていることを確認してください。 ※2エアが入っていかないときは、チャージホースのバルブコア押し の突起が出ている側が、チャージ口にしっかり接続されている
- か、再確認してください。 接続部から冷媒が漏れるとき

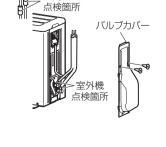
### ※フレアナットが規定トルクで締め付けられているか、再確認して ください。規定トルクで締め付けられていても、冷媒が漏れると

きは、フレア加工の不具合が考えられます。 冷媒回収などによりエアコン内に冷媒が無い状態にし、漏れ箇所 を修正した後、再接続して真空引きを行い、規定量の新規冷媒を

液冷媒で再充填してください。このとき、規定量以外の冷媒は絶 対に入れないでください。 **10** ガス漏れ検査

• R32には、HFC冷媒(R32 · R410A · R134aなど)専用のリ ークディテクターを使用して、配管接続部のリークテストを確実 に実施してください。

室内機

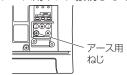


## 11 アース工事

• 室内機または室外機のどちらか一方のアース端子より接地を行っ てください。

## ■ 室内機からアースを行う場合

端子台カバー内のアース用ネジに接続してください。



- ※アース線は、同梱されていません。 (現地調達:直径1.6mmまた は断面積2㎡以上)
- ※アース工事を行うときには、電源プラグを抜いた状態で実施して ください。
- ※漏電遮断器が働く場合は、衝撃波不動作形の漏電遮断器に交換し てください。
- ※漏電警報器が働く場合は漏電警報器の設定を変更してください。

# ■ 室外機からアースを行う場合

・アース棒(別売品)を使用してください。

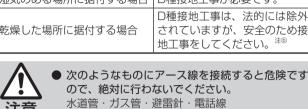


## ■ 接地の基準

このエアコンは、接地の基準に従ってアース工事をしてください。

接地の基準はエアコンの電源電圧および接地場所により異なりま 下表により培州工事を行ってください

9。「衣により按地工事で1]」」(	\/CCU16
エアコン据付場所	接地工事
水気のある場所に据付する場合	漏電遮断機を取り付け、さらに D種接地工事が必要です。 <sup>注®</sup>
湿気のある場所に据付する場合	D種接地工事が必要です。 <sup>注®</sup>
乾燥した場所に据付する場合	D種接地工事は、法的には除外されていますが、安全のため接地工事をしてください。注®



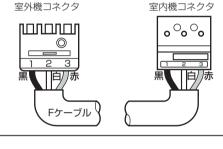
### D種接地工事について(注@)

- ・ 接地工事は電気工事士の方が行ってください。
- ・接地抵抗は100Ω以下であることを確認してください。ただし漏 電遮断器を取り付けた場合は500Ω以下であることを確認してく ださい。

### 乾燥した場所に据付する場合(注) ・接地抵抗は100Ω以下になるようにしてください。最悪でも

250Ω以下であることを確認してください。 12 接続配線の接続(室外機)

- ・ 室内機の配線に合わせて配線します。
- サービスバルブカバーをサイドキャビネットにねじ3本でしっかり 固定します。
- ※皮むき時に芯線の被覆を傷つけないでください。



# 13 試運転

- ①表面の注意書・包装用シール・テープをすべて外してください。 ②コンセントに電源プラグを差し込みます。
- ③リモコンの「冷房」または「暖房」を押します。
- 冷房の場合、リモコンで設定温度を17℃にします。 暖房の場合、リモコンで設定温度を30℃にします。
- ・約3分後に室外機が運転を開始し、冷風(暖房の場合は温風)を吹 き出します。

3分間再起動防止タイマーについて

エアコンを起動するときや運転を切り替えたときは、約3分間運転 が始まりません。これは本体保護のためで、故障ではありません。 ④試運転確認終了後、「停止」を押し、運転を停止します。

# 14 点検

・据付工事完了後、□の中に✔印を入れて確認し、このチェックシ ートをお客様にお渡しください。

- □ 据付場所は、エアコンの重量に十分に耐え、騒音や振動が増大しない
- □ 電源は専用回路を使用し、電源電圧に問題のないことを確認しまし
- □ 電源コードの中間接続や延長コードの使用、タコ足配線は行っていま
- □ コンセントと電源プラグにがたつきはありません。
- □ 内外接続線の中間接続は行っていません。 □ アース線の接続は確実に行いました。
- □ 壁穴部のシールは確実に行いました。
- □ 配管接続部のリークテストを行い、冷媒が漏れていないことを確認し
- ました。 □ 配管は断熱材でしっかり覆い、テープでシールしました。
- □ サービスバルブの弁棒は全開にしました。
- □ 室内機に水を流して、確実に排水されることを確認しました。
- □ 試運転を行い、冷房・暖房運転が正常であることを確認しました。 □ 取扱説明書をもとに、お客様に正しい取扱方法と運転方法を説明しま

した。 確認日: 年 月  $\Box$ 

確認者:

工事(施工)会社名: 問合わせ先 電話番号: